

ベニス国際映画祭ゴールデンマキュリー賞
モンザ産業と手工芸品映画祭グランプリ
日本紹介映画コンクール最優秀作品・通産大臣賞

HANDICRAFTS

— Beauty of Japan —

手工芸品

— その日本美 —

貿易振興会

企画 日本商工会議所 日本貿易振興会
製作 桜映画社
英・仏・露語版 カラー 21分

一年の三分の一を雪でおおわれる東北地方。積雪に町の音を吸収された静かな町通りには、毎朝野菜や魚や日用品の市が立つ。その中にまじる素朴な郷土玩具。手も足もない、頭と胴だけの人形——こけし。こけし人形のシンプルな造型には、雪に閉じ込められた人々の願いと、風土の中で凝縮された手工芸品のもつ力が感じられる。

日本の屋根といわれる中部山岳地方の一つ、飛弾には、古くから「春慶」といわれるユニークな漆器が生産されている。それは檜や榎の木の目の美しさを生かし見せる独得な漆器だが、この素材の美しさを生かすという感覚も日本の手工芸の一つの特色といえる。

日本の西部、日本文化の発祥地であり神話の舞台である「出雲」地方には、すぐれた和紙が古くから作られている。日本紙を作るには、まず水がよくなければならない。そして楮や三桠や雁皮という植物の繊維で作られた紙料を、一枚一枚心をこめて生地にデザインしながら漉く。日本紙は用途に従って様々な種類が各地で生産され、実にいろいろな形で日本人の生活に利用されている。

竹もさまざまな種類があり、またその地方地方の用途に従う独得の竹製品が方々にあるが、九州地方の竹林と竹製品は殊に名高い。竹は堅くて強靱で弾力性に富んでいる。この特質を生かしながら日本人はその器用な手で数々の生活用具を生み出してきた。

日本の手工芸品の美しさは、形の単純さ、あたたかさ、素材の美しさを生かす独得な感覚のたまものである。

■ 製作スタッフ

製作	村山英治	撮影	山根重視
	村山祐治	音楽	岡田和夫
脚本	大北浜夫	編集	長谷川宣人
監督	金子精吾		

株式会社 桜映画社

〒160 東京都新宿区西新宿 1-22-1 TEL 03 (342) 5768